



観光統計

宿泊旅行統計調査

令和2年11月30日
観光庁

(令和2年9月・第2次速報、令和2年10月・第1次速報)

1. 延べ宿泊者数

- 令和2年9月の延べ宿泊者数(全体)は、**2,602万人泊**で、**前年同月比-46.6%**であった。
また、**10月**は、**3,324万人泊**、**前年同月比-33.6%**であった。
- 日本人延べ宿泊者数は、**9月**は、**2,584万人泊**で、**前年同月比-36.2%**であった。
また、**10月**は、**3,296万人泊**、**前年同月比-17.2%**であった。
- 外国人延べ宿泊者数は、**9月**は、**19万人泊**で、**前年同月比-97.8%**であった。
また、**10月**は、**28万人泊**、**前年同月比-97.3%**であった。

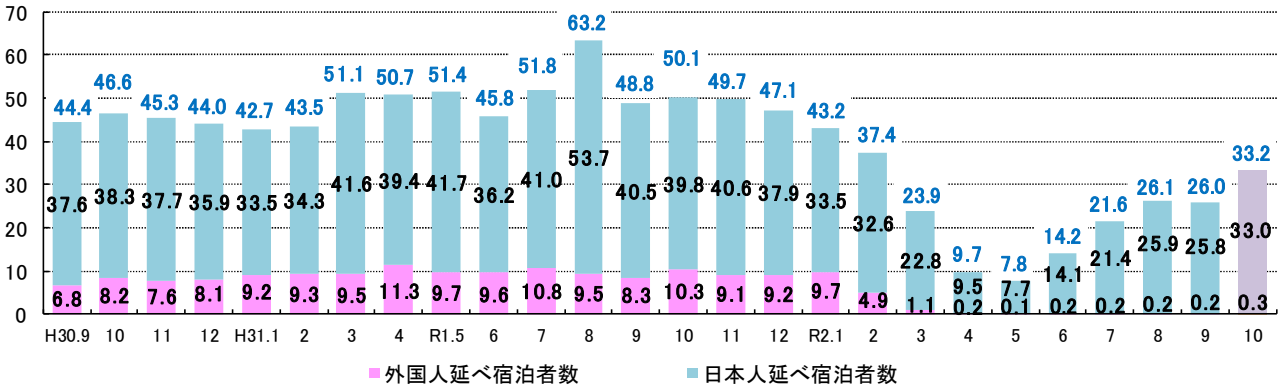
(万人泊)

	全体	日本人	外国人
R2.9	2,602	2,584	19
(前年同月比)	-46.6%	-36.2%	-97.8%
R2.10 (※)	3,324	3,296	28
(前年同月比)	-33.6%	-17.2%	-97.3%

※令和2年10月の数値は第1次速報値であり、令和2年12月25日公表予定の第2次速報値で変更となる可能性がある。

ー延べ宿泊者数の推移ー

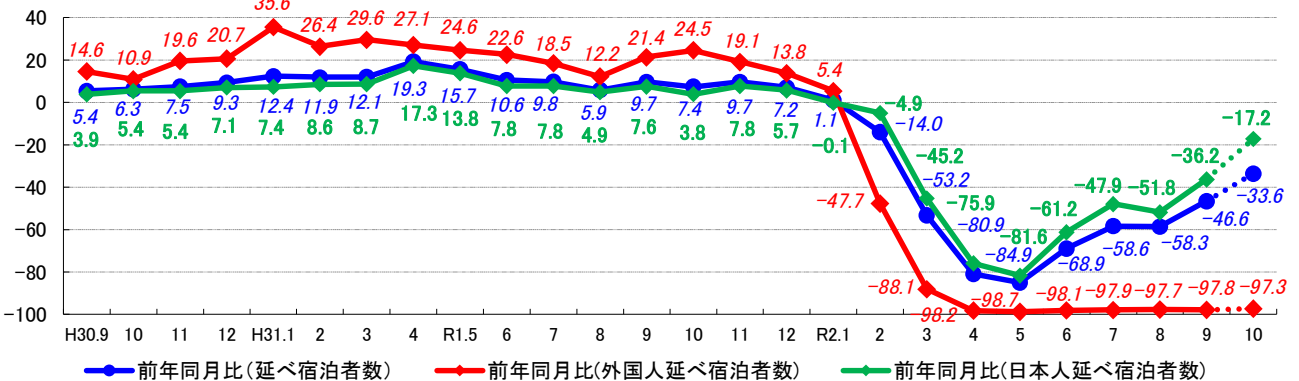
(百万人泊)



※上表の青字の数値は、日本人及び外国人の延べ宿泊者数を合計した全体の数値である。

ー延べ宿泊者数前年同月比の推移ー

(%)



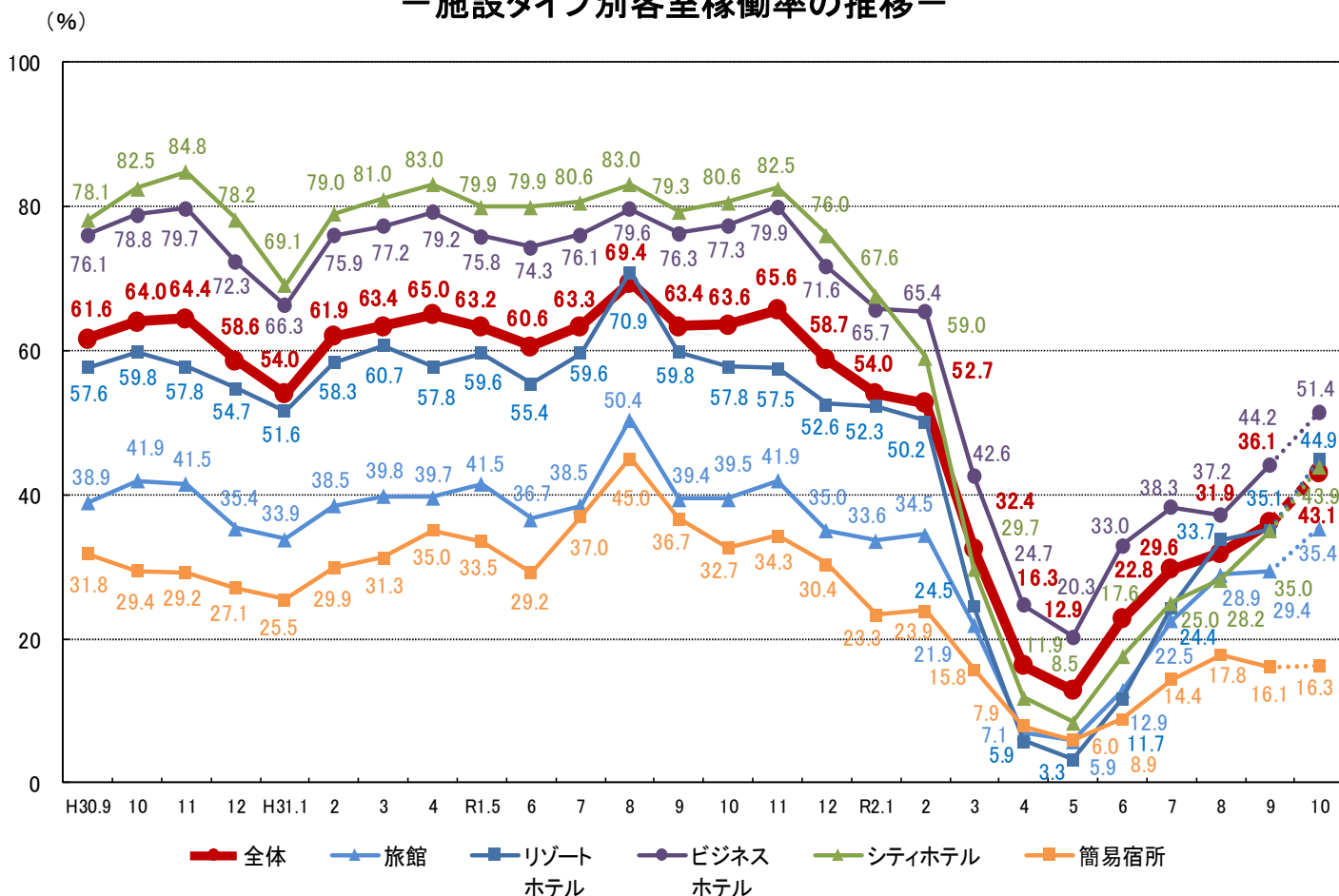
2. 客室稼働率

○令和2年9月の客室稼働率は全体で**36.1%**であった。また、10月は全体で**43.1%**であった。
 ○令和2年10月の施設タイプ別客室稼働率についてみると、旅館、リゾートホテルは前年同月と比べた減少幅が小さくなってきている。

	(%)					
	全体	旅館	リゾートホテル	ビジネスホテル	シティホテル	簡易宿所
R2.9	36.1	29.4	35.1	44.2	35.0	16.1
(前年同月差)	-27.3	-10.0	-24.7	-32.1	-44.3	-20.6
R2.10(※)	43.1	35.4	44.9	51.4	43.9	16.3
(前年同月差)	-20.5	-4.1	-12.9	-25.9	-36.7	-16.4

※令和2年10月の数値は第1次速報値であり、令和2年12月25日公表予定の第2次速報値で変更となる可能性がある。

—施設タイプ別客室稼働率の推移—



一都道府県別宿泊施設タイプ別客室稼働率(令和2年9月(第2次速報))一

(左、単位: %、右(「全体」は中央): 宿泊施設タイプ別の都道府県順位)

	全体		旅館	リゾート ホテル	ビジネス ホテル	シティ ホテル	簡易宿所						
	前年同月差												
全国	36.1	-	29.4	-	35.1	-	44.2	-	35.0	-	16.1	-	
北海道	46.9	5	-24.7	42.1	2	41.6	15	55.4	15	47.4	20	21.4	7
青森県	48.8	2	-14.4	35.5	8	44.8	11	59.4	5	48.5	17	20.2	10
岩手県	48.6	3	-9.7	41.8	3	45.7	10	56.9	8	58.2	3	18.1	14
宮城県	40.7	16	-17.4	32.2	17	35.1	27	48.2	33	40.8	33	23.7	2
秋田県	46.9	5	-12.7	38.1	4	43.5	12	56.0	11	65.2	1	10.3	41
山形県	39.6	21	-16.4	31.5	20	29.0	39	57.3	7	49.5	14	9.8	42
福島県	44.0	10	-9.6	36.9	6	32.3	31	55.7	13	45.8	23	22.9	4
茨城県	41.7	13	-21.4	20.7	42	53.3	2	50.2	27	32.3	42	14.8	24
栃木県	39.7	20	-15.0	34.3	12	40.2	17	51.1	24	35.0	39	20.1	11
群馬県	36.6	34	-18.0	31.7	18	30.9	35	52.5	19	43.9	26	6.7	46
埼玉県	45.8	7	-24.5	30.4	25	37.9	22	50.7	25	47.2	21	21.8	6
千葉県	37.7	28	-33.5	34.4	11	39.9	18	41.6	40	44.3	24	17.4	16
東京都	25.2	47	-54.0	19.5	44	18.6	45	29.5	46	17.7	47	22.2	5
神奈川県	44.9	9	-27.4	35.5	8	53.3	2	55.8	12	48.6	16	26.6	1
新潟県	33.3	40	-13.0	20.8	41	12.9	47	56.6	9	41.0	32	14.9	23
富山県	35.8	37	-23.4	27.0	28	25.2	43	42.8	39	38.2	36	16.1	18
石川県	37.3	30	-26.8	37.3	5	34.8	28	43.9	37	36.0	38	11.6	35
福井県	36.5	36	-18.1	26.5	29	37.4	24	56.5	10	33.6	41	9.8	42
山梨県	27.7	45	-22.2	20.6	43	30.3	36	48.9	30	49.8	13	13.5	26
長野県	28.4	43	-12.7	18.1	46	34.6	29	53.6	17	57.1	5	11.0	36
岐阜県	40.3	19	-18.7	30.8	23	28.0	41	60.5	3	40.8	33	20.0	12
静岡県	39.0	22	-19.6	35.2	10	31.3	33	51.7	22	41.4	30	15.3	22
愛知県	37.8	26	-29.6	21.2	40	36.4	26	41.1	41	39.1	35	19.2	13
三重県	37.4	29	-13.3	31.0	22	38.6	21	47.5	36	33.7	40	11.0	36
滋賀県	40.6	18	-11.6	33.7	15	42.1	13	53.1	18	46.2	22	12.2	33
京都府	28.1	44	-38.5	23.0	37	30.1	37	36.0	42	29.2	44	12.1	34
大阪府	28.5	41	-47.5	22.7	39	37.8	23	29.2	47	28.0	45	23.7	2
兵庫県	38.5	24	-17.4	29.0	26	47.4	8	48.8	31	44.3	24	12.4	31
奈良県	28.5	41	-15.5	23.1	36	64.6	1	30.7	45	37.6	37	16.3	17
和歌山県	40.7	16	-3.9	30.7	24	47.1	9	58.0	6	53.5	7	21.4	7
鳥取県	42.9	11	-10.9	35.6	7	38.7	20	59.9	4	50.5	12	12.5	29
島根県	47.0	4	-8.8	33.3	16	49.3	6	60.7	2	48.1	19	15.4	21
岡山県	42.2	12	-19.6	22.9	38	33.3	30	55.7	13	48.4	18	11.0	36
広島県	45.0	8	-25.6	34.0	14	52.6	4	50.6	26	57.6	4	16.0	19
山口県	62.4	1	+9.2	42.4	1	41.5	16	76.4	1	63.8	2	18.0	15
徳島県	34.1	38	-17.2	24.7	33	27.8	42	43.0	38	41.4	30	12.3	32
香川県	40.9	15	-20.6	31.6	19	39.0	19	49.7	28	52.4	9	15.6	20
愛媛県	41.2	14	-12.8	31.5	20	50.6	5	49.2	29	51.0	11	21.4	7
高知県	37.2	31	-12.4	27.9	27	42.1	13	51.2	23	52.6	8	10.5	40
福岡県	33.6	39	-34.7	18.2	45	17.6	46	35.7	43	42.1	28	14.0	25
佐賀県	39.0	22	-18.7	34.2	13	48.2	7	53.7	16	49.2	15	8.0	45
長崎県	36.6	34	-15.6	23.3	35	31.2	34	52.0	20	42.7	27	8.5	44
熊本県	38.5	24	-21.4	26.5	29	24.6	44	51.9	21	53.9	6	13.3	27
大分県	37.8	26	-11.3	25.9	31	36.6	25	47.6	35	52.0	10	10.9	39
宮崎県	36.8	32	-13.5	24.0	34	28.6	40	48.6	32	29.3	43	6.5	47
鹿児島県	36.8	32	-15.3	25.6	32	32.2	32	47.7	34	42.1	28	12.9	28
沖縄県	26.5	46	-41.0	17.2	47	29.9	38	32.0	44	25.2	46	12.5	29

※宿泊施設タイプ別に見たとき、客室稼働率が最も大きかった都道府県を朱書きにしている。

- 注1) 令和2年9月(第2次速報)は、令和2年9月分の宿泊旅行統計調査について、令和2年11月13日までに回収された有効な調査票(有効回収率: 50.8%)を基に推計を行ったものである。したがって、当資料の数値は、令和2年10月30日公表の「宿泊旅行統計調査(令和2年9月・第1次速報)」と異なる。
- 注2) 令和2年10月(第1次速報)は、令和2年10月分の宿泊旅行統計調査について令和2年11月13日までに回収された有効な調査票(有効回収率: 28.2%)を基に推計を行ったものである。したがって、当資料の数値は、令和2年12月25日公表予定の「宿泊旅行統計調査(令和2年10月・第2次速報)」で変更となる可能性がある。
- 注3) 前年同月差は、確報値との差分である。
- 注4) 本資料においては、平成19年~令和元年の数値は確定値、令和2年1月~令和2年9月の数値は第2次速報値、令和2年10月の数値は第1次速報値を使用している。

※参考: 令和2年9月・第1次速報公表時の有効回収率: 33.6%

問い合わせ先
 観光庁観光戦略課観光統計調査室 中島、湯原、迫下
 TEL 03-5253-8111(内線 27-214、27-216、27-217)
 03-5253-8325(直通)
 FAX 03-5253-1691

～調査結果概要～

○令和2年9月の延べ宿泊者数は、2,602万人泊(前年同月比-46.6%)で、うち外国人延べ宿泊者数は19万人泊(前年同月比-97.8%)。延べ宿泊者全体に占める外国人宿泊者の割合は0.71%。

1. 都道府県別延べ宿泊者数

都道府県別延べ宿泊者数(令和2年9月(第2次速報))と前年同月比

(単位:人泊)

施設所在地	延べ宿泊者数	前年同月比
全国	26,020,820	-46.6%
北海道	1,999,610	-38.4%
青森県	325,510	-24.3%
岩手県	422,060	-14.9%
宮城県	545,590	-39.6%
秋田県	256,460	-27.7%
山形県	331,040	-30.1%
福島県	835,000	-18.6%
茨城県	336,730	-36.6%
栃木県	605,080	-30.2%
群馬県	443,330	-37.3%
埼玉県	260,450	-40.9%
千葉県	1,161,940	-51.2%
東京都	1,776,060	-73.1%
神奈川県	1,265,390	-36.6%
新潟県	623,810	-29.4%
富山県	216,940	-39.2%
石川県	409,100	-47.7%
福井県	198,400	-45.6%
山梨県	411,760	-47.1%
長野県	1,009,600	-33.7%
岐阜県	368,490	-39.3%
静岡県	1,143,190	-39.6%
愛知県	901,720	-40.7%
三重県	450,140	-27.7%
滋賀県	264,160	-35.6%
京都府	1,011,090	-58.8%
大阪府	1,227,610	-67.4%
兵庫県	800,270	-28.6%
奈良県	145,490	-33.5%
和歌山県	301,250	-27.7%
鳥取県	165,670	-27.7%
島根県	220,760	-26.2%
岡山県	281,750	-37.2%
広島県	562,600	-42.4%
山口県	314,550	+8.5%
徳島県	131,810	-36.2%
香川県	221,150	-45.5%
愛媛県	251,290	-26.9%
高知県	181,920	-18.7%
福岡県	747,840	-53.3%
佐賀県	140,880	-34.8%
長崎県	394,290	-25.3%
熊本県	413,410	-30.6%
大分県	405,680	-29.3%
宮崎県	216,370	-32.0%
鹿児島県	438,830	-29.6%
沖縄県	884,730	-67.3%

※ 前年同月比は、確定値との比較である。

2. 外国人延べ宿泊者数

(1)都道府県別外国人延べ宿泊者数

○外国人延べ宿泊者数は、19万人泊であった。なお、同月で比較すると、調査開始以降過去最低であった平成21年9月の139万人泊(※1)を下回った。

※1)調査を開始した平成19年から平成22年3月までは従業者数10名以上の施設のみ調査対象としていた。

都道府県別外国人延べ宿泊者数(令和2年9月(第2次速報))と前年同月比

(単位:人泊)

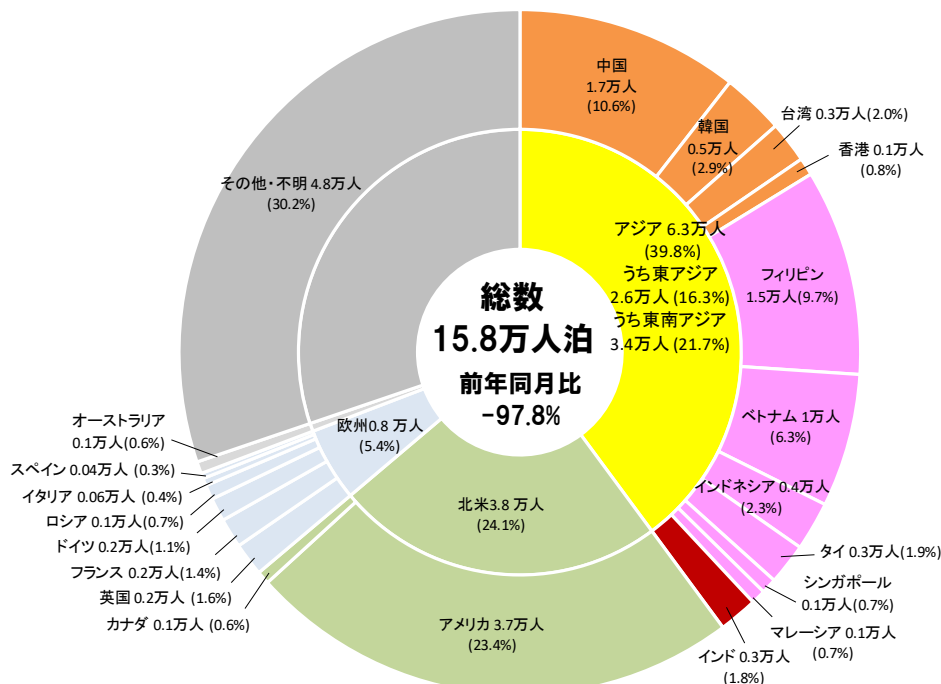
施設所在地	延べ宿泊者数	前年同月比
全国	185,270	-97.8%
北海道	3,700	-99.1%
青森県	1,170	-94.7%
岩手県	770	-94.9%
宮城県	2,650	-94.2%
秋田県	390	-96.3%
山形県	1,540	-84.7%
福島県	1,820	-80.0%
茨城県	1,220	-92.9%
栃木県	1,190	-94.7%
群馬県	920	-95.0%
埼玉県	980	-94.4%
千葉県	39,820	-88.5%
東京都	32,540	-98.6%
神奈川県	10,530	-96.0%
新潟県	1,640	-90.2%
富山県	680	-97.0%
石川県	3,190	-95.2%
福井県	370	-94.3%
山梨県	310	-99.8%
長野県	2,250	-96.9%
岐阜県	940	-99.1%
静岡県	6,190	-97.2%
愛知県	4,960	-98.1%
三重県	670	-96.8%
滋賀県	1,150	-95.7%
京都府	5,820	-99.4%
大阪府	16,540	-98.7%
兵庫県	3,380	-96.4%
奈良県	890	-97.9%
和歌山県	850	-98.3%
鳥取県	620	-93.8%
島根県	450	-92.6%
岡山県	520	-98.5%
広島県	2,300	-97.5%
山口県	1,290	-79.0%
徳島県	370	-96.2%
香川県	1,250	-98.0%
愛媛県	2,500	-81.6%
高知県	510	-92.4%
福岡県	4,070	-98.3%
佐賀県	200	-98.9%
長崎県	2,500	-93.3%
熊本県	1,960	-96.6%
大分県	830	-98.4%
宮崎県	530	-97.5%
鹿児島県	1,220	-97.8%
沖縄県	15,130	-97.7%

※ 前年同月比は、確定値との比較である。

(2) 国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数

- 令和2年9月の国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、第1位がアメリカ、第2位が中国、第3位がフィリピン、第4位がベトナム、第5位が韓国で、上位5カ国・地域で全体の53.0%を占める。
- 前年同月比はフィリピンとベトナム以外のすべての国籍(出身地)において9割以上減少した。

国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数(令和2年9月(第2次速報))



順位	国籍(出身地)	合計		前年同月比
		(人泊)	シェア	
第1位	アメリカ	37,060	23.4%	-93.8%
第2位	中国	16,710	10.6%	-99.3%
第3位	フィリピン	15,380	9.7%	-76.7%
第4位	ベトナム	9,960	6.3%	-81.4%
第5位	韓国	4,660	2.9%	-98.6%
第6位	インドネシア	3,650	2.3%	-94.6%
第7位	台湾	3,090	2.0%	-99.7%
第8位	タイ	3,080	1.9%	-98.0%
第9位	インド	2,900	1.8%	-94.1%
第10位	英国	2,470	1.6%	-99.0%
第11位	フランス	2,210	1.4%	-98.1%
第12位	ドイツ	1,750	1.1%	-98.3%
第13位	香港	1,320	0.8%	-99.7%
第14位	シンガポール	1,170	0.7%	-99.1%
第15位	マレーシア	1,070	0.7%	-98.4%
第16位	ロシア	1,070	0.7%	-97.0%
第17位	カナダ	970	0.6%	-98.9%
第18位	オーストラリア	920	0.6%	-99.7%
第19位	イタリア	560	0.4%	-99.3%
第20位	スペイン	400	0.3%	-99.5%
	その他	42,640	27.0%	-94.3%
	合計	158,120	100.0%	-97.8%

- ※ 従業者数10人以上の施設に対する調査から作成。
- ※ 国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数の調査において、以下のとおり調査対象国を追加している。
- ・平成25年第1四半期調査よりインドネシア
 - ・平成25年第2四半期調査よりベトナム、フィリピン
 - ・平成27年4月分調査よりイタリア、スペイン
- ※ 前年同月比は、確定値との比較である。

<参考> 延べ宿泊者数・客室稼働率推移表

○延べ宿泊者数推移表

(単位:人泊、%)

	延べ宿泊者数		うち日本人延べ宿泊者数		うち外国人延べ宿泊者数		
		前年(同月)比		前年(同月)比		前年(同月)比	
平成19年	309,381,780	—	286,727,440	—	22,654,340	—	
平成20年	309,698,710	+0.1%	287,450,410	+0.3%	22,248,300	-1.8%	
平成21年	301,303,940	-2.7%	283,006,170	-1.5%	18,297,770	-17.8%	
平成22年	413,048,930	+15.8%	385,539,960	+14.1%	27,508,970	+42.2%	
平成23年	417,234,450	-2.7%	398,818,760	-0.1%	18,415,690	-34.6%	
平成24年	439,495,120	+5.3%	413,180,780	+3.6%	26,314,340	+42.9%	
平成25年	465,893,370	+6.0%	432,397,640	+4.7%	33,495,730	+27.3%	
平成26年	473,501,950	+1.6%	428,677,350	-0.9%	44,824,600	+33.8%	
平成27年	504,078,370	+6.5%	438,463,770	+2.3%	65,614,600	+46.4%	
平成28年	492,485,160	-2.3%	423,096,220	-3.5%	69,388,940	+5.8%	
平成29年	509,596,860	+3.5%	429,906,270	+1.6%	79,690,590	+14.8%	
平成30年	538,001,500	+5.6%	443,726,260	+3.2%	94,275,240	+18.3%	
平成31年・令和元年	595,921,480	+10.8%	480,265,130	+8.2%	115,656,350	+22.7%	
平成31年	1月	42,684,710	+12.4%	33,475,930	+7.4%	9,208,780	+35.6%
	2月	43,539,370	+11.9%	34,263,100	+8.6%	9,276,270	+26.4%
	3月	51,147,600	+12.1%	41,632,530	+8.7%	9,515,070	+29.6%
	4月	50,718,730	+19.3%	39,434,250	+17.3%	11,284,480	+27.1%
令和元年	5月	51,402,690	+15.7%	41,675,120	+13.8%	9,727,570	+24.6%
	6月	45,810,390	+10.6%	36,223,400	+7.8%	9,586,990	+22.6%
	7月	51,780,530	+9.8%	40,979,120	+7.8%	10,801,410	+18.5%
	8月	63,234,040	+5.9%	53,747,580	+4.9%	9,486,460	+12.2%
	9月	48,761,240	+9.7%	40,500,840	+7.6%	8,260,400	+21.4%
	10月	50,052,850	+7.4%	39,790,830	+3.8%	10,262,020	+24.5%
	11月	49,659,370	+9.7%	40,595,300	+7.8%	9,064,070	+19.1%
	12月	47,129,960	+7.2%	37,947,140	+5.7%	9,182,820	+13.8%
令和2年	1月	43,156,910	+1.1%	33,454,210	-0.1%	9,702,700	+5.4%
	2月	37,443,380	-14.0%	32,591,440	-4.9%	4,851,940	-47.7%
	3月	23,940,920	-53.2%	22,810,550	-45.2%	1,130,370	-88.1%
	4月	9,706,670	-80.9%	9,504,040	-75.9%	202,630	-98.2%
	5月	7,785,180	-84.9%	7,656,040	-81.6%	129,140	-98.7%
	6月	14,240,840	-68.9%	14,061,600	-61.2%	179,240	-98.1%
	7月	21,578,040	-58.3%	21,352,150	-47.9%	225,890	-97.9%
	8月	26,149,030	-58.6%	25,930,050	-51.8%	218,980	-97.7%
	9月	26,020,820	-46.6%	25,835,550	-36.2%	185,270	-97.8%
	10月	33,235,510	-33.6%	32,959,630	-17.2%	275,880	-97.3%
	11月						
	12月						

※ 平成22年第2四半期(4~6月調査)より、従業者数10人未満の宿泊施設を調査対象に加える拡充をしている。

この点を踏まえ、平成20年~平成23年における前年比は、従業者数10人以上の宿泊施設の実績をもとに算出している。

※ 1)平成19年~令和元年の数値は確定値、2)令和2年1月~令和2年9月の数値は第2次速報値、3)令和2年10月の数値は第1次速報値である。

○宿泊施設タイプ別客室稼働率推移表

(単位: %)

	全体	旅館	リゾート ホテル	ビジネス ホテル	シティホテル	簡易宿所	
平成19年						—	
平成20年						—	
平成21年	59.7	49.4	53.3	67.2	71.1	—	
平成22年	64.0	52.9	52.6	68.3	75.7	—	
平成23年	51.8	34.7	46.8	62.3	67.1	—	
平成24年	54.8	35.5	48.0	67.3	72.5	—	
平成25年	55.2	33.4	52.3	69.5	75.7	—	
平成26年	57.4	35.2	54.0	72.1	77.3	—	
平成27年	60.3	37.0	56.0	74.2	79.2	27.1	
平成28年	59.7	37.1	56.9	74.4	78.7	25.0	
平成29年	60.5	37.5	57.5	75.3	79.5	28.0	
平成30年	61.2	38.8	58.3	75.5	80.2	30.2	
平成31年・令和元年	62.7	39.6	58.5	75.8	79.5	33.4	
平成31年							
令和元年	1月	54.0	33.9	51.6	66.3	69.1	25.5
	2月	61.9	38.5	58.3	75.9	79.0	29.9
	3月	63.4	39.8	60.7	77.2	81.0	31.3
	4月	65.0	39.7	57.8	79.2	83.0	35.0
令和2年	5月	63.2	41.5	59.6	75.8	79.9	33.5
	6月	60.6	36.7	55.4	74.3	79.9	29.2
	7月	63.3	38.5	59.6	76.1	80.6	37.0
	8月	69.4	50.4	70.9	79.6	83.0	45.0
	9月	63.4	39.4	59.8	76.3	79.3	36.7
	10月	63.6	39.5	57.8	77.3	80.6	32.7
	11月	65.6	41.9	57.5	79.9	82.5	34.3
	12月	58.7	35.0	52.6	71.6	76.0	30.4
令和2年	1月	54.0	33.6	52.3	65.7	67.6	23.3
	2月	52.7	34.5	50.2	65.4	59.0	23.9
	3月	32.4	21.9	24.5	42.6	29.7	15.8
	4月	16.3	7.1	5.9	24.7	11.9	7.9
	5月	12.9	5.9	3.3	20.3	8.5	6.0
	6月	22.8	12.9	11.7	33.0	17.6	8.9
	7月	29.6	22.5	24.4	38.3	25.0	14.4
	8月	31.9	28.9	33.7	37.2	28.2	17.8
	9月	36.1	29.4	35.1	44.2	35.0	16.1
	10月	43.1	35.4	44.9	51.4	43.9	16.3
	11月						
	12月						

※ 平成22年第2四半期（4～6月調査）より、従業者数10人未満の宿泊施設を調査対象に加える拡充をしている。

※ 1) 平成19年～令和元年の数値は確定値、2) 令和2年1月～令和2年9月の数値は第2次速報値、3) 令和2年10月の数値は第1次速報値である。

宿泊旅行統計調査の概要

1. 調査対象期間	毎月(1ヶ月間)
2. 調査施設	全国のホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの 全宿泊施設 : 58,990施設
	調査施設数 :
	・令和2年9月(第2次速報) 21,360施設
	従業者数10名以上 13,143施設
	従業者数10名未満 8,217施設
	・令和2年10月(第1次速報) 21,089施設
	従業者数10名以上 12,992施設
	従業者数10名未満 8,097施設
	有効回収率:
	・令和2年9月(第2次速報) 50.8%(全体)
	従業者数10名以上 56.3%
	従業者数10名未満 41.9%
	・令和2年10月(第1次速報) 28.2%(全体)
	従業者数10名以上 32.6%
	従業者数10名未満 21.1%

宿泊旅行統計調査の活用における留意点

○当資料の数値は速報値であるため、確定値において数値が変更します。

○平成22年第2四半期(4～6月調査)から、従業者数10人未満の施設も調査対象となり、その際に母集団数に差異が生じております。調査結果をご活用の際は以下の点にご留意下さい。

● 母集団施設数について

- ・平成21年(確定値)第1四半期:従業者数10人以上の施設(約1万施設)
- ・平成22年(確定値)第1四半期以降:従業者数10人以上の施設(約1.2万施設)

※従業者数10人以上の施設でも、平成21年確定値と平成22年確定値の母集団数には差があります。比較する際には、第1表をご確認いただく等、ご注意ください。

調査対象拡充の概要

1. 平成22年第1四半期以前の調査

(1) 調査対象施設

平成16年度事業所・企業データベース(総務省)を基に、国土交通省観光庁で補正を加えた名簿から抽出した、全国の従業者数10人以上のホテル、旅館、簡易宿所の宿泊施設

(2) 集計結果

全国の従業者数10人以上の宿泊施設における延べ宿泊者数等の推計値

2. 平成22年第2四半期以降の調査 ※下線部は主な追加・変更点

(1) 調査対象施設

統計法第27条に規定する事業所母集団データベース(総務省)を基に、国土交通省観光庁で補正を加えた名簿から抽出した、全国のホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの宿泊施設

調査施設は、従業者数に応じて以下のとおり

- 従業者数10人以上の事業所 : 全数(悉皆)調査
- 従業者数5人～9人の事業所 : 1/3を無作為に抽出してサンプル調査
- 従業者数0人～4人の事業所 : 1/9を無作為に抽出してサンプル調査

(2) 集計結果

全国のすべての宿泊施設における延べ宿泊者数等の推計値

● 宿泊旅行統計調査の詳細データについて

<宿泊旅行統計調査>の詳細データについては、下記ホームページに掲載しています。

国土交通省観光庁ホームページ
<http://www.mlit.go.jp/kankocho/>

観光庁

統計情報・白書

統計情報

宿泊旅行統計調査

(宿泊旅行統計調査ホームページ)